

e-モニターアンケート実施報告書

この度は、e-モニターアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。三重県総合博物館（以下、MieMu）では、新型コロナウイルス感染症流行下においても、安心して博物館を楽しんでいただけるよう、活動を充実させるため、オンラインでの取組を中心にご意見をいただきました。地域福祉課では、だれもが使いやすいユニバーサルデザインに関する意識についてお伺いしました。

結果、1,025 名の方からご回答をいただきました。アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆様にお礼を申し上げますとともに、その結果について下記のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

アンケート概要

1 アンケート実施期間

令和4年4月27日（水）から令和4年5月11日（水）まで

2 回答率

対象者数 1,394 人

回答者 1,025 人

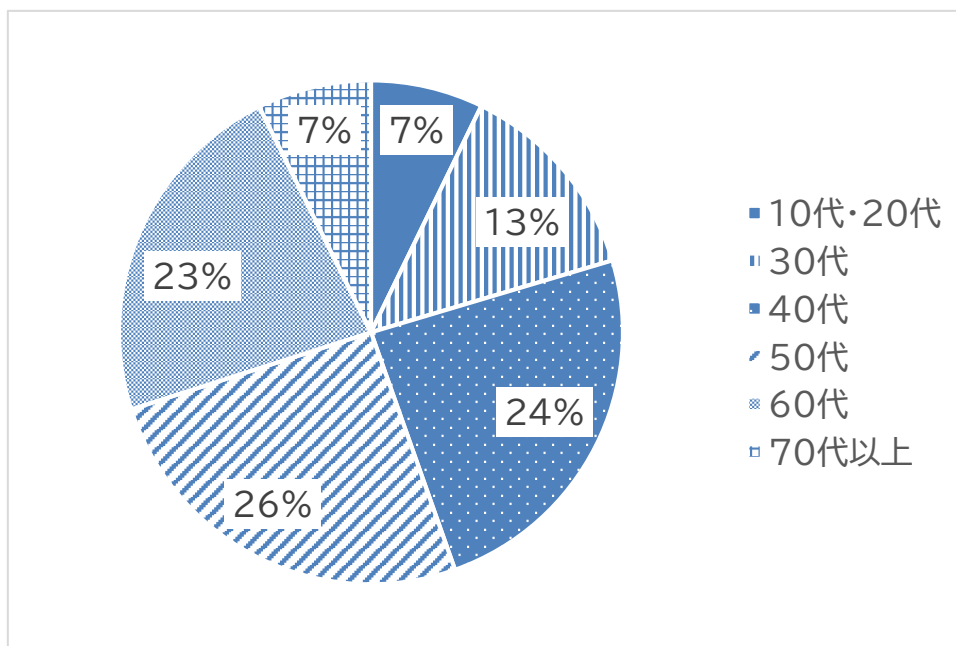
回答率 73%

※割合は小数点第一位を四捨五入

3 回答者の属性

年代別

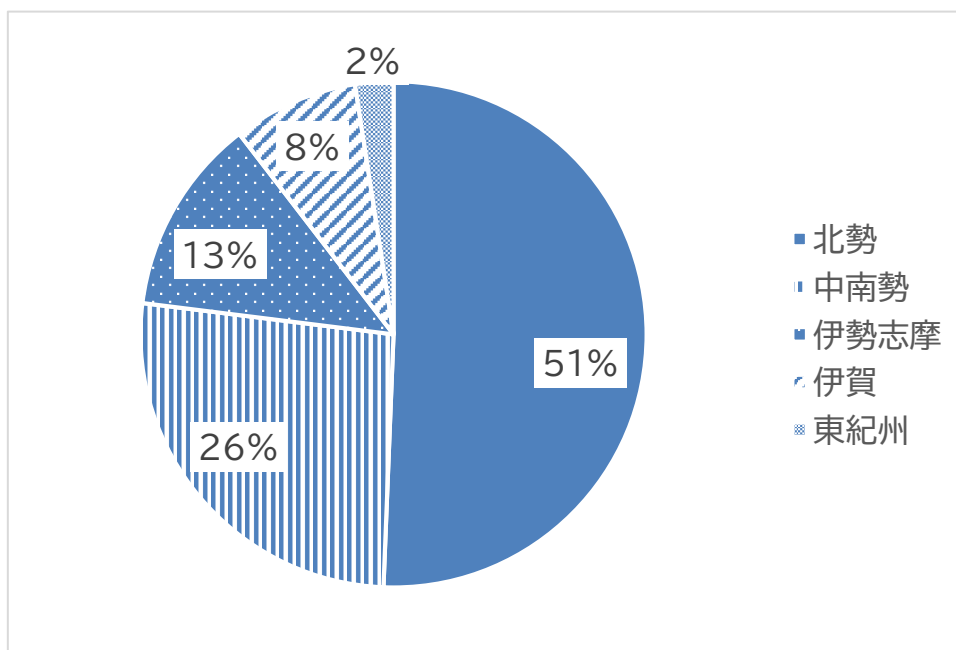
	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	74 人	135 人	248 人	261 人	232 人	75 人
割合	7.2%	13.2%	25.5%	25.5%	22.6%	7.3%



地域別

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
人数	519 人	270 人	129 人	82 人	25 人
割合	50.6%	26.3%	12.6%	8.0%	2.4%

※北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
 中南勢：津市、松阪市、多気町、明和町、大台町
 伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
 伊賀：名張市、伊賀市 東紀州：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

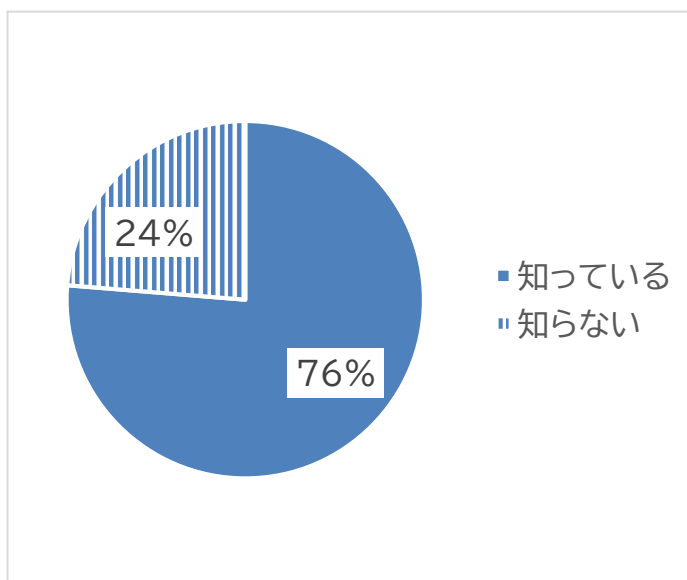


Q1 MieMuについて(1)

あなたは、津市にある三重県総合博物館(MieMu)をご存知ですか？

① 知っている	782 人	76%
② 知らない	243 人	24%

MieMu をご存知の方は、76%・782 人の方でした。令和3年度に実施したeモニターアンケート（令和3年5月19日から6月2日まで）でも認知度は76%あり、同様の傾向でした。

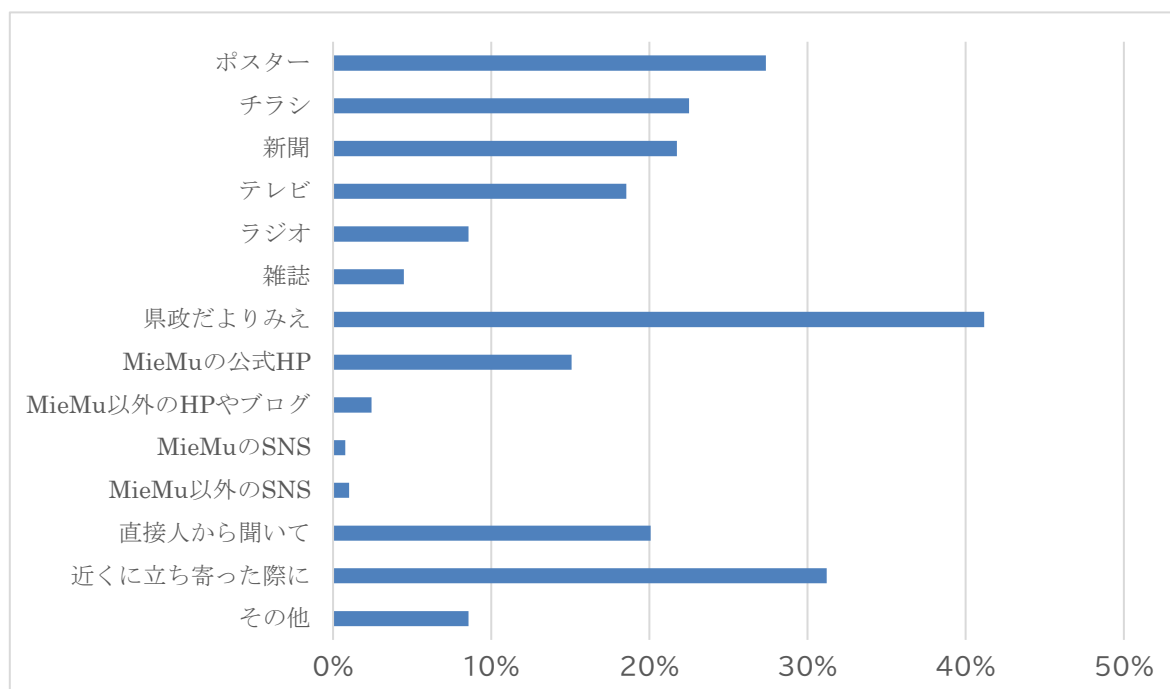


Q2 MieMuについて(2)

Q1で「知っている」とお答えいただいた方にお聞きします。(782人)

MieMuを何で知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

① ポスター	214人	27%
② チラシ	176人	23%
③ 新聞	170人	22%
④ テレビ	145人	19%
⑤ ラジオ	67人	9%
⑥ 雑誌	35人	5%
⑦ 県政だよりみえ	322人	42%
⑧ MieMuの公式ホームページ	118人	15%
⑨ MieMu以外のホームページやブログ	19人	2%
⑩ MieMuのTwitterやFacebook	6人	0.8%
⑪ MieMu以外のTwitterやFacebook	8人	1%
⑫ 直接、人から聞いて	157人	20%
⑬ 近くに立ち寄った際に	244人	31%
⑭ その他	67人	9%

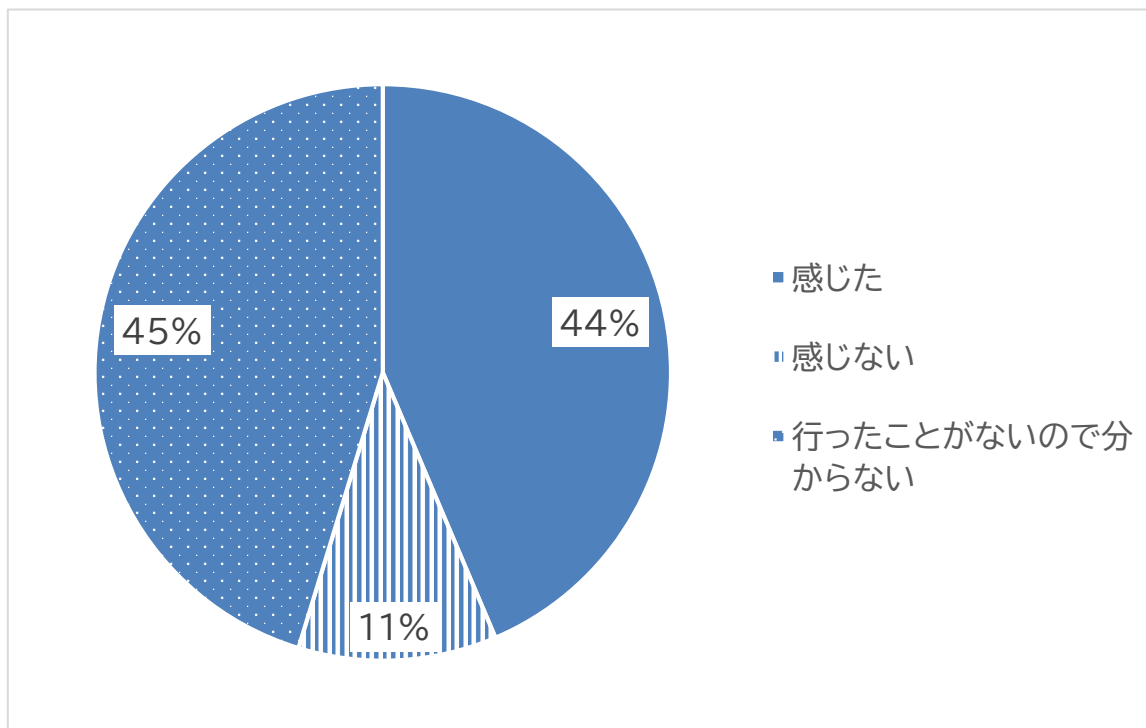


Q1で「MieMuを知っている」と回答した782人の方にお答えいただきました。MieMuを知った広報媒体としては、県政だよりが最も多く42%・322人でした。次いで近くに立ち寄った際に知った(31%・244人)が多く、周辺の文化施設等と併せて利用される傾向がありました。「その他」では、学校からのお知らせや遠足での来館、以前に訪れたことがある等のご意見がありました。

Q3 MieMuについて(3)

あなたは今までに MieMu に行ったり、MieMu のホームページや刊行物を見たりして「三重の良さ」や「三重の魅力」を感じましたか。(782 人)

① 感じた	341 人	44%
② 感じない	87 人	11%
③ 行ったことがないので分からない	354 人	45%



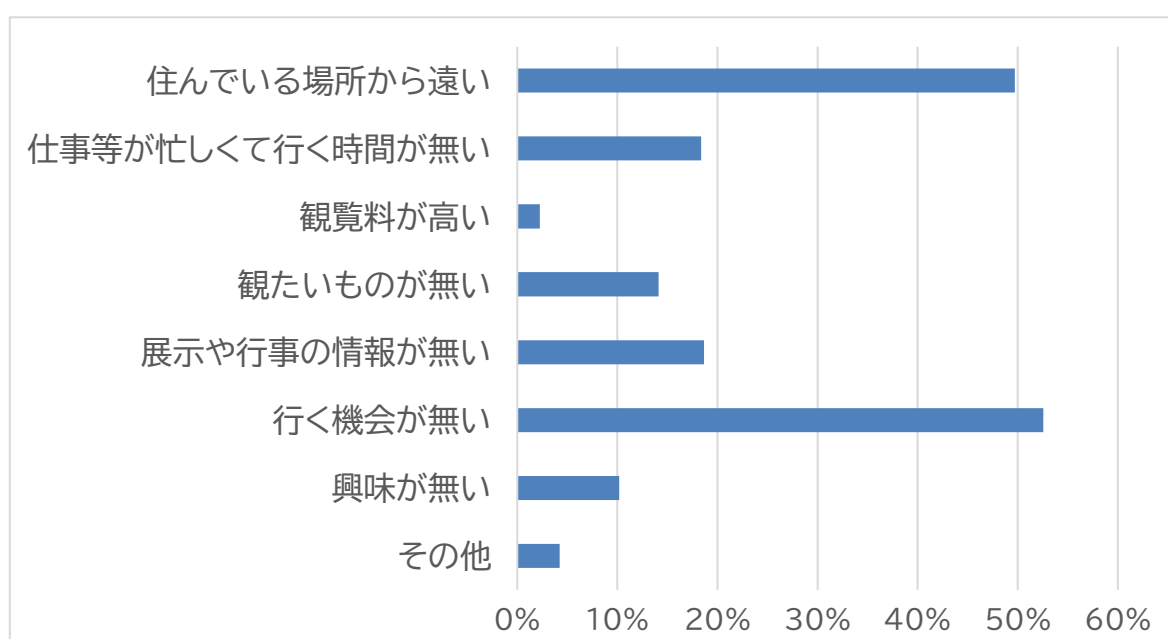
Q1で「MieMuを知っている」と回答した782人の方にお答えいただきました。MieMuへ来館いただいたり、ホームページや情報誌などの刊行物をご覧になったりした際に、「三重の良さや魅力を感じた」とお答えいただいた方は44%・341人でした。一方、「行ったことがないので分からない」とお答えになった方も45%・354人と多い状況です。引き続き情報発信に努めるとともに、三重の自然と歴史・文化を様々な視点から紹介し、遠方からでもぜひ行ってみたいと思える博物館を目指します。

Q4 MieMu に行ったことがない理由について

Q3 で「行ったことがない」とお答えいただいた方にお聞きします。(354 人)

行ったことがない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

① 住んでいる場所から遠い	176 人	50%
② 仕事等が忙しくて行く時間が無い	65 人	19%
③ 観覧料が高い	8 人	2%
④ 観たいものが無い	50 人	14%
⑤ 展示や行事の情報が無い	66 人	19%
⑥ 行く機会が無い	186 人	53%
⑦ 興味が無い	36 人	10%
⑧ その他	15 人	4%



Q3 で「行ったことがない」と回答した 354 人の方にお答えいただきました。「行く機会が無い」と答えた方が最も多く 53%・186 人、次いで「住んでいる場所から遠い」と答えた方が 50%・176 人でした。「その他」の中には、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で外出を控えている、小さい子どもを連れていけないという声が複数ありました。MieMu では、県内各地で移動展示を開催したり学芸員講座(出前講座)で地域へお邪魔したりする等、アウトリーチの取組を推進しています。まずはお住いの地域で博物館に触れる機会の創出に努め、身近な博物館として県民のみなさんに利用していただきたいと考えています。

また、展覧会をご覧いただく以外にも、三重の自然や歴史・文化に関する質問に各分野の学芸員がお答えします。身近で知りたいことがある際は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

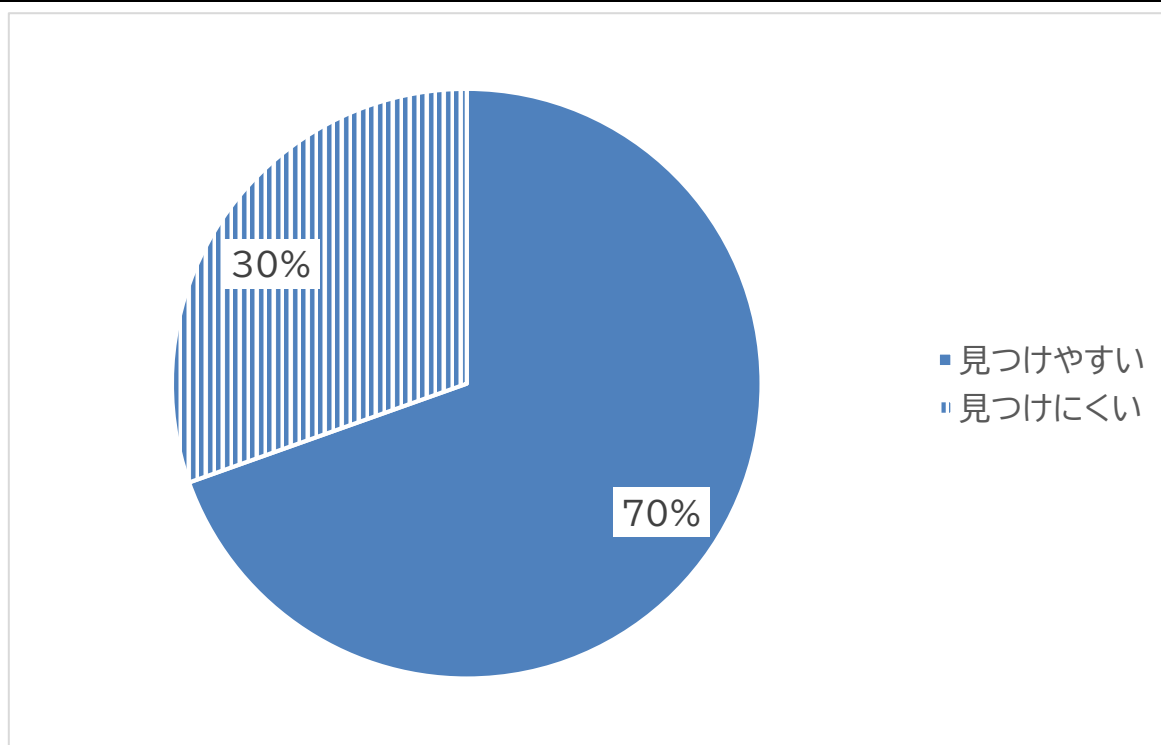
Q5 ホームページについて(1)

MieMu では、公式ホームページで開催している展览会や、講演会などのイベント、収蔵資料のデータベースなどを公開しています。

(URL:<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>)。

あなたが知りたい情報について、見つけやすくなっていますか。

① 見つけやすい	713 人	70%
② 見つけにくい	312 人	30%

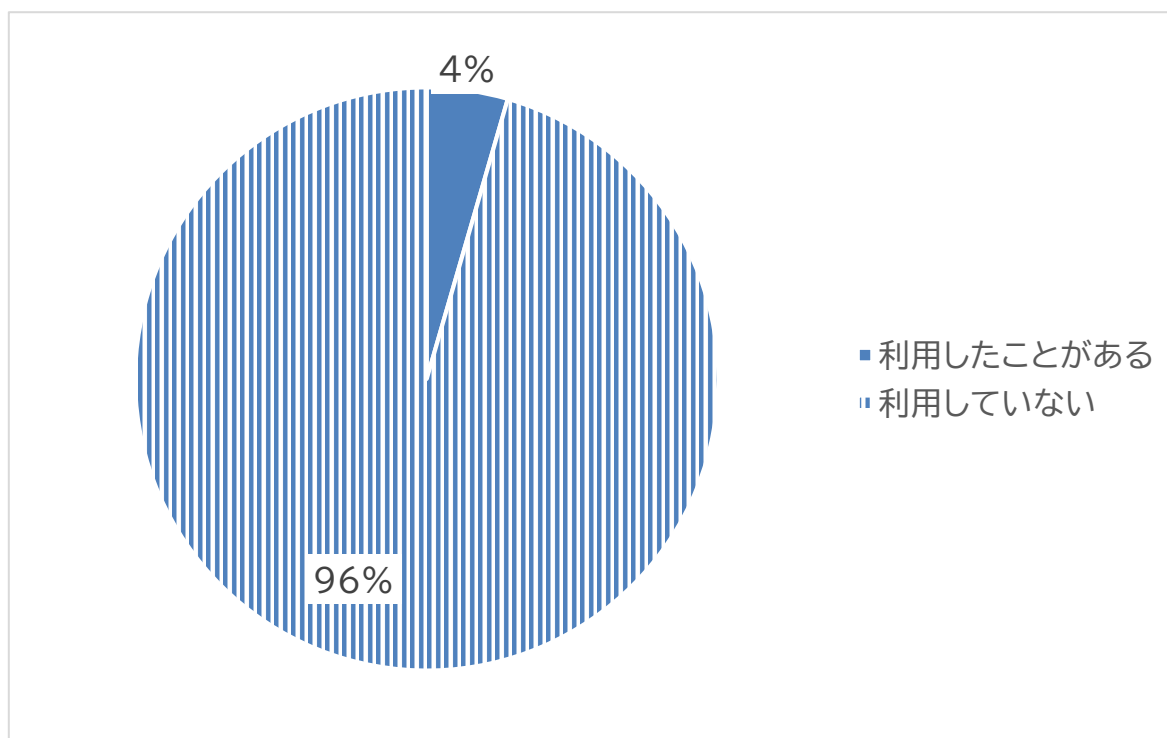


ホームページについては、それぞれの方が知りたい情報について「見つけやすい」(70%・713人)と回答しており、概ね必要な情報が整理された状態で利用しやすいことが確認できました。今後も引き続き細やかな情報発信に努めるとともに、見つけにくい情報の部分を修正していきます。

Q6 所蔵資料の情報について(1)

ご自宅等からでも、MieMu が所蔵している三重の自然や歴史・文化に関する資料について「所蔵資料検索(URL:<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/da/>)」で調べることができます。こちらの検索システムについてご利用いただいたことはありますか。「利用していない」とお答えいただいた方は、Q8へお進みください。

① 利用したことがある	46 人	4%
② 利用していない	979 人	95%



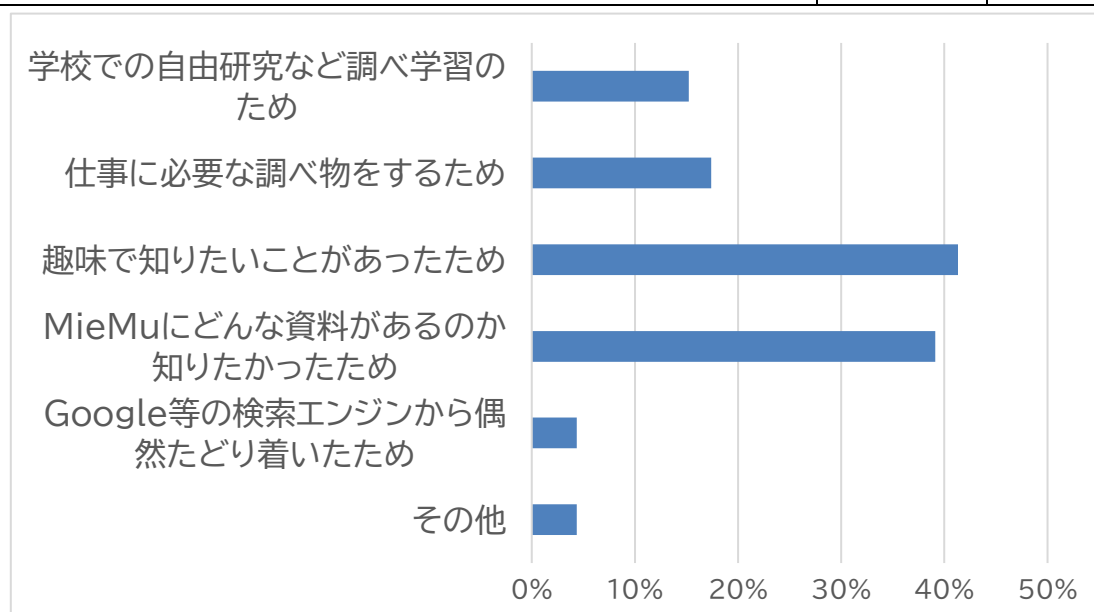
「収蔵資料検索」については、「利用したことがある」が、4%・46 人に留まりまっており、まだ多くの方が利用されたことが無い状況であることがわかりました。MieMu に収蔵されている資料は、県民のみなさんからお預かりしている大切な三重の宝物ですので、多くの方に収蔵資料に対する興味を持っていただけるよう、引き続き資料の魅力をご紹介していきます。あわせて、「収蔵資料検索」の情報更新も推進していきます。

Q7 所蔵資料の情報について(2)

Q6で「利用したことがある」とお答えいただいた方にお聞きします。

どのような目的で利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

① 学校での自由研究など調べ学習のため	7人	15%
② 仕事に必要な調べ物をするため	8人	17%
③ 趣味で知りたいことがあったため	19人	41%
④ MieMuにどんな資料があるのか知りたかったため	18人	39%
⑤ Google等の検索エンジンから偶然たどり着いたため	2人	4%
⑥ その他	2人	4%



「収蔵資料検索」を利用した目的としては、「趣味で知りたいことがあったため」(41%・19人)が最も多い結果でした。社会教育施設として、県民のみなさんの知的好奇心にお応えできるよう今後も務めます。

Q8 MieMuに対するご意見について

MieMuに行った際の印象や企画展の感想、広報、これからの運営に向けて、あなたのご意見をお聞かせください。(自由記載)

Q8については、以下のようなご意見をいただきました。

- ・遠いので行きたくても行きにくい。近くに出張してくれるといいな。
- ・年齢が高い方の中には、インターネットを使用することができない方もいると思います。そのような方へのアピール方法もご検討ください。
- ・あらゆる三重に関する資料の保存に関して重要な役割があると思います。ただ、その役割と来館したいと気持ちとはなかなか一致しないのが個人的な本音です。
- ・ホームページの字が、黒の同じ大きさ、字体ばかりで、見た目が堅すぎる感じがします。

○「ユニバーサルデザインに関するアンケート結果について」

(子ども・福祉部地域福祉課)

※文章中のパーセント(%)表示は、小数点第2位を四捨五入して求めています。

9 施設整備に関するユニバーサルデザインについて

Q9 あなたは、官公庁・病院・スーパー・駅舎・歩道など多くの人が利用する施設や電車、バスなどの乗り物について、段差が解消されたり、出入口が広がるなど、だれもが使いやすくなってきていると感じますか。また、ユニバーサルデザインに配慮された施設を利用しようと思いますか。

多くの人が利用する施設やバスなどの乗り物についてだれもが使いやすくなってきていると感じるかという問いに、「使いやすくなってきていると感じる」と回答した方は、合わせて約72.3%となっています。

また、ユニバーサルデザインに配慮された施設を利用しようと思うかという問いに「配慮された施設を使いたい」と回答した方は、合わせて約55.4%となっています。

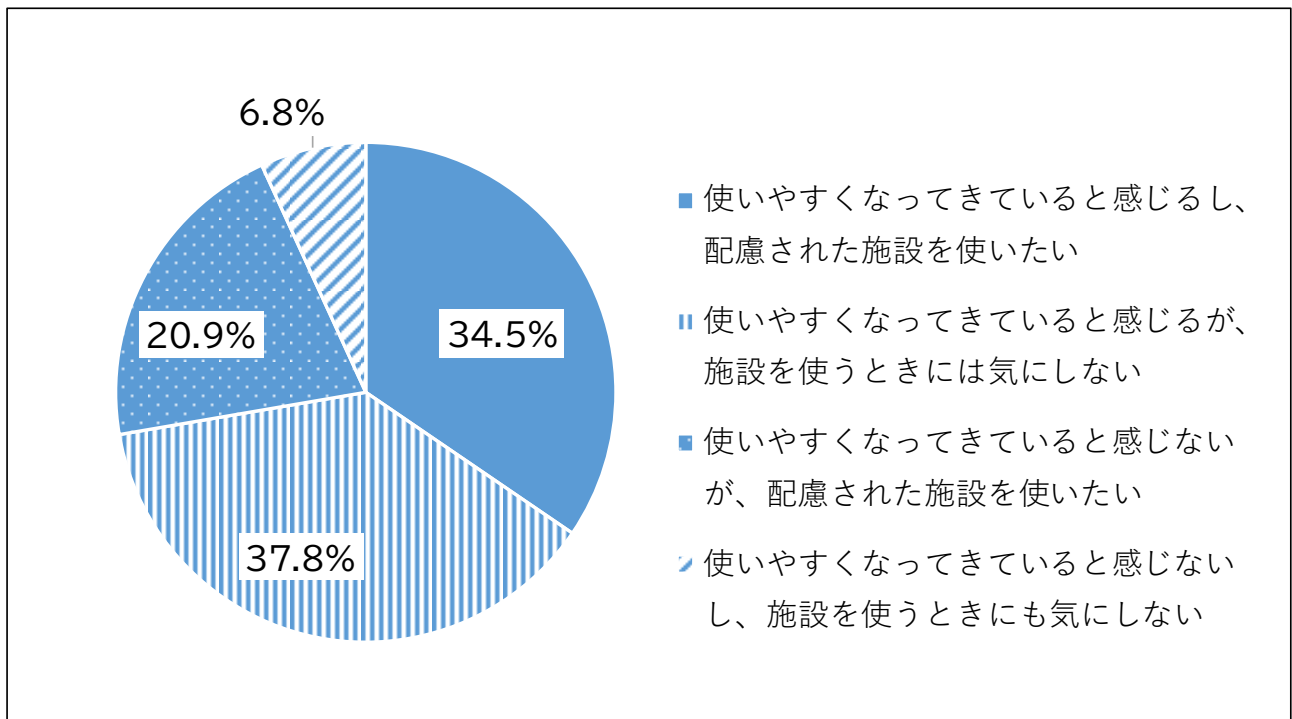


図 施設等のユニバーサルデザインについて

10 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて

Q10 あなたは、日常生活で使う製品、社会生活に必要な広報紙やチラシなど情報提供が、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って配慮されてきていると感じますか。また配慮された製品を使いたいですか。

製品、情報提供がさまざまな人の立場に立って配慮されてきているかという問いに、「配慮されてきていると感じる」と回答した方は、合わせて約 63.3%となりました。

また、配慮された製品を使いたいかという問いに「配慮された製品等を使いたい」と回答した方は、合わせて約 52.3%となりました。

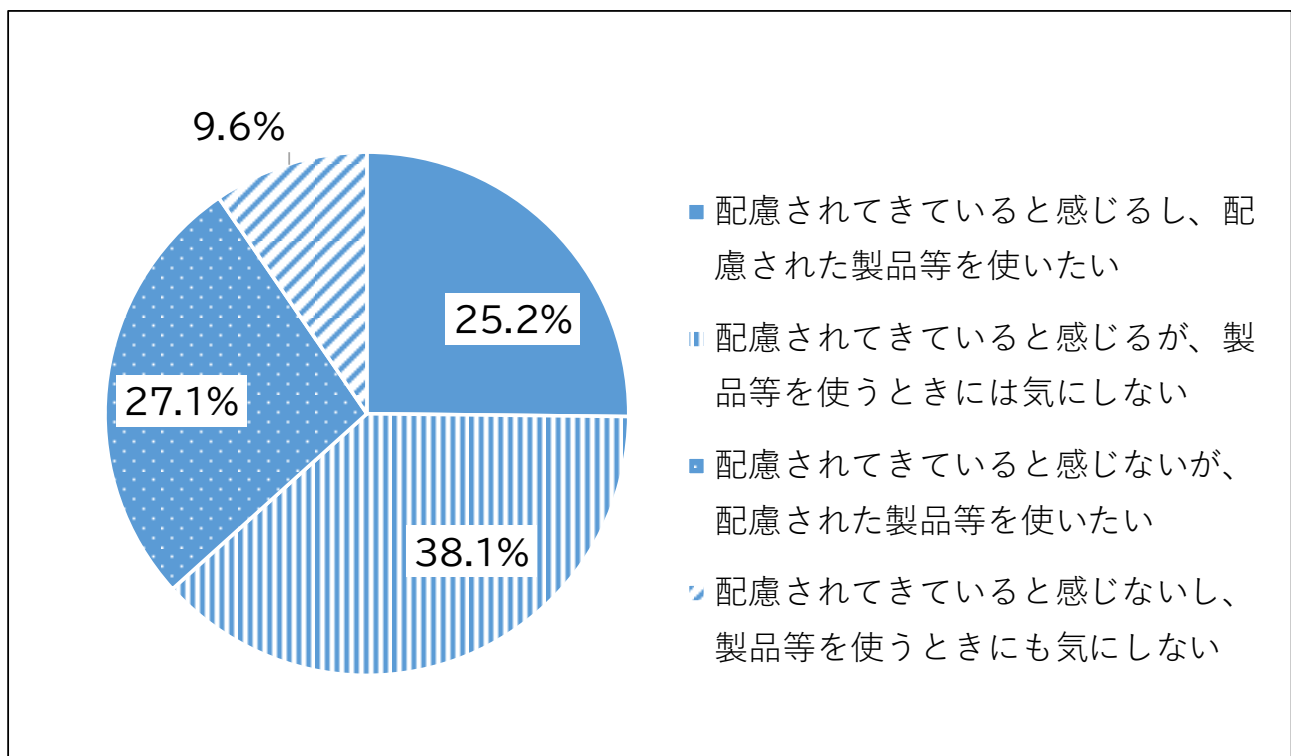


図 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて

11 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて

Q11 あなたは、国、県、市町等の行政サービスや商店、商業施設、宿泊施設等の民間企業等の顧客サービスが、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って提供されていると感じますか。また、配慮されたサービスを行っている施設を利用したいですか。

※この設問での「サービス」は、案内表示や窓口サービス（説明）のわかりやすさ、利用手続きの簡素化、その他利用者の要望に応じたサービスをイメージしてください

行政サービスや顧客サービスがさまざまな人の立場に立って提供されてきているかという問いに、「配慮されてきていると感じる」と回答した方は、合わせて約 63.1%となりました。

また、配慮されたサービスを行っている施設を利用したいかという問いに、「サービスの良い施設等を使いたい」と回答した方は、合わせて約 69.9%となりました。

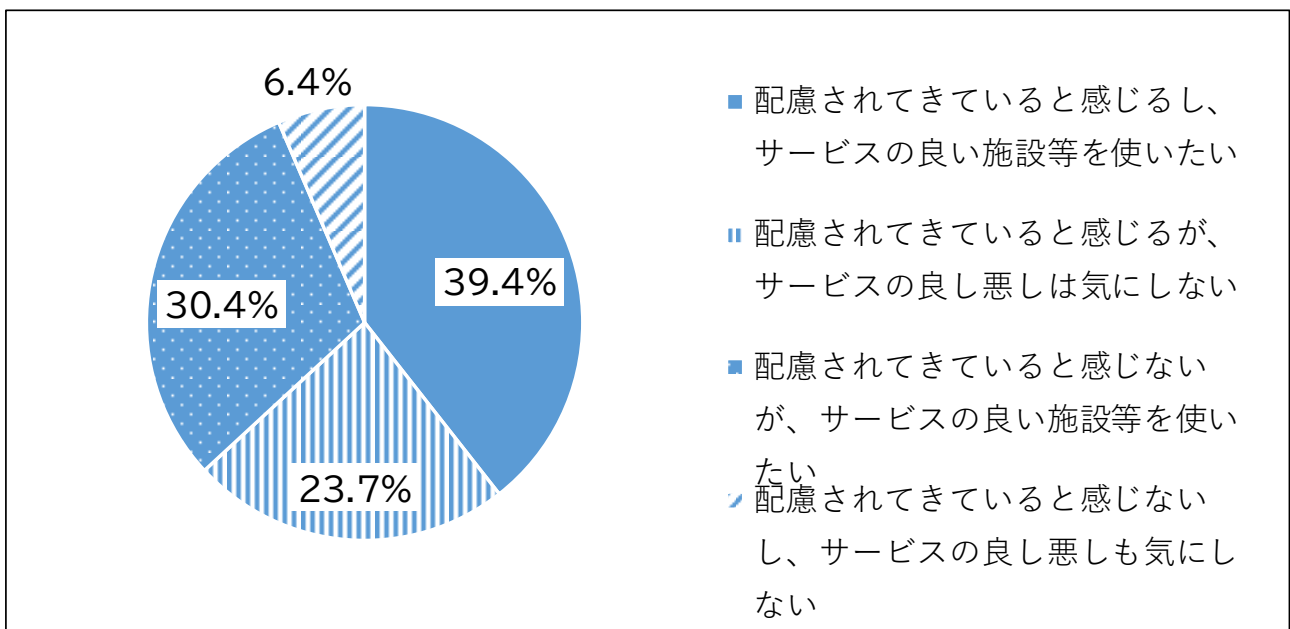


図 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて

12 ユニバーサルデザインの意識と行動について

Q12 一人ひとりが相手の立場に立って、困っている人に「何かお手伝いすることはありますか」と声をかけたり、手助けをするといった「おもいやりのある行動」をとることも、ユニバーサルデザインのまちづくりには必要です。

あなたは、この1年間に、困っている人を見かけた際に、声をかけたことがありますか。

この1年間に「困った人を見かけた」と回答した方は、合わせて約45.0%となり、困っている人を見かけた人のうち「声をかけたことがある」と回答した方は約90.0% (40.5%/45%) となりました。

また、困っている人に「声をかけたことがある」「見かけたら声掛けをしようと思う」と回答した方は、合わせて約90.4%となりました。

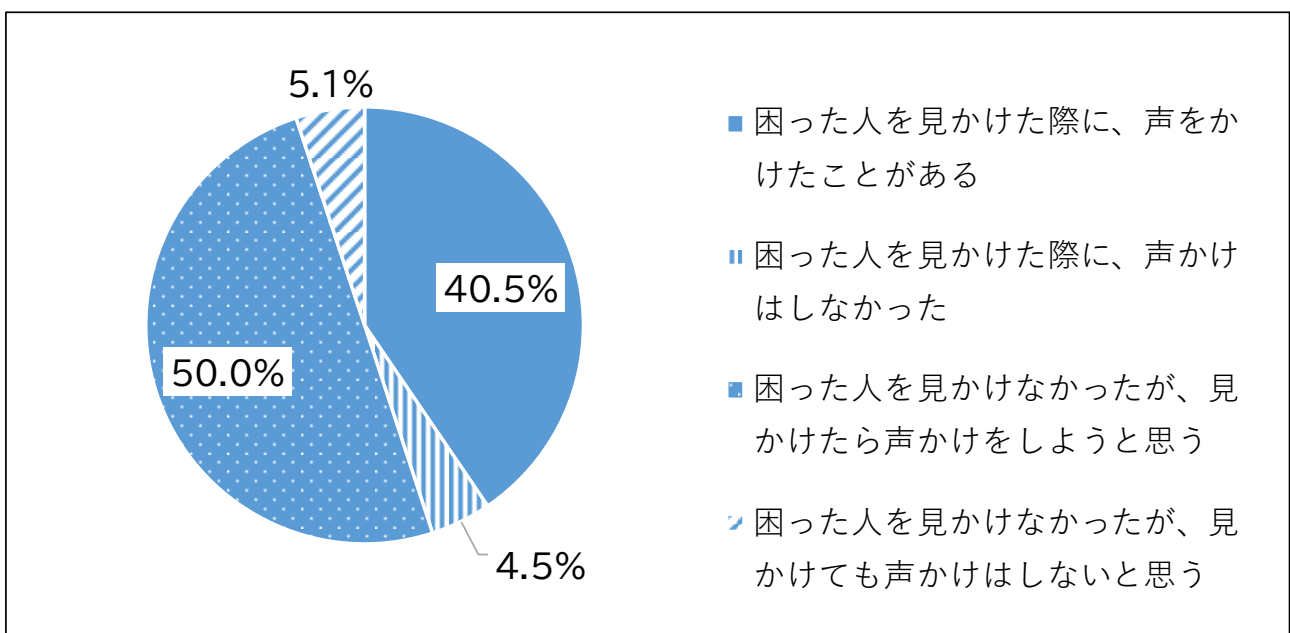


図 ユニバーサルデザインの意識と行動について